

EKLY REPORT

ROTARYCLUBOF hakusanishikawa



がバナー方針「**一歩前進しよう(one step ahead)**」 クラブ基本方針「**この地球を優しさで満たそう・・・未来ある子ども達のために**」

白山石川ロータリークラブ

2019年11月28日 No.856

会長:武藤一彦 幹事:織部資子

クラブ会報委員長:永瀬喜子 副委員長:藤本和久 委員 五十嵐隆介・林 哲也・多田 茂

事務局/白山市西新町 159-2 松任産業会館 4階 TEL076-274-2907 FAX076-274-2908

Mail:info@hakusanishikawa-rc.jp HP://www.hakusanishikawa-rc.jp

◆会長挨拶 (武藤一彦会長)

交換留学生のLevi君が、当家での3ヶ月間のホームステイを終えて、松任高校が見える近さにある藤本さん宅へ行かれました。7月24日、若干15歳の若者が1人無事にアメリカニューヨーク州から意気揚々と来られたのには感心しました。当家は、70歳を超えた夫婦のみで、本当に彼氏の期待に応えられるかが問題でした。また、英語も単語を並べるだけのお粗末さです。また、来られる前に頂いた手紙には、漢字とひらがなで挨拶の文章が書かれ、日本語をかじっている様子が見て取れました。やる気十分です。後からのお話ですが母親が日本(東京)に留学していた事があったそうです。部屋は、子どもたちが出て行った部屋をぶち抜いた広めのスペースが当たりました。大きなトランクと幾つかのポストンとリュックの中身は、広い室内の一部を占めたただけでした。

朝は、6時に起きて7時に1階の食堂に降りて来ます。食事後歯を磨いて、7時45分に自転車で学校に向かいます。眠そうな様子もなく、寝過ごして遅れることも皆無でした。生活習慣の時間割が彼ほどしっかりしているのはあまり聞いたことがありません。心配していた食事では、これまでの習慣から肉より野菜が得意でした。何よりもご飯が大好きになりました。お刺身大好き、海苔で巻いたオニギリも大好きになりました。食事の時の水分は、味噌汁は問題なかったですが、牛乳は苦手、食卓には必ず大きなコップにミネラルウォーターが常盤でした。長くなりましたので続きは次号に。

今回は武藤会長が所用のため、例会に遅れたため、急遽小柳善裕副会長が挨拶いたしました。会報には、武藤会長が挨拶する予定の文を掲載しました。



◆お客様の紹介

・2019~2020年度受入交換留学生 リヴァイ・ハウザーさん

◆次次年度会長・次年度理事役員候補者の発表



◆幹事報告 (織部資子 幹事)

- ・11/20 派遣交換留学生 越野蒼梨さんより近況報告が届く。
- ・11/20 白山市役所国際交流室よりHIA国際交流の集い2019のご案内が届く。12月8日(日)13時30分~15時30分頃
場所:松任公民館軽体育室
アトラクションのひとつとして、交換留学生のリヴァイ君からもピアノ演奏を披露してもらうことになりました。
- ・11/20 ガバナー事務所より2019-20年度 第2回クラブ職業奉仕委員長会議開催のご案内(第2回 職業奉仕研究セミナーのご案内)が届く。
開催日時:2020年1月19日(日)13:30~15:30
開催場所:富山電気ビルディング5F中ホール
このセミナーには、多くのクラブ会員の方々にもご参加頂きたいと思っておりますのでクラブ職業奉仕委員長以外の会員の方々のご参加もよろしくお願い申し上げます。
【締切日】2019年12月17日(火)
- ・11/27 地区国際青少年交換委員会 委員 松本 仁氏より受入交換学生および派遣予定交換学生のための合同オリエンテーションの開催のご案内が届く。
日時:2019年12月21日(土)~22日(日)
場所:リファーレビル4階石川県国際交流協会大研修室
参加対象者:2020-21年度派遣交換留学生 湯口宇宙君、2019-20年度受入交換留学生 リヴァイ君

◆会員卓話

藤本 和久 君

演題「ロータリーに入会して～次年度幹事として～」



野澤誠治：ヴァイ君の日本語の上達が凄いです。皆さん、話しかけてください。

池元ことみ：藤本さん、卓話楽しみにしておりました。おつかれ様でした。リヴァイ君、藤本家は学校の側で良かったネ。

6班炉辺グループ：炉辺会の余りです。



本日合計 7,396 円 今年度累計 299,396 円

◆出席報告 (新陽一郎委員長)

- 出席率： 75.00%
- 出席者： 22名 /34名
- 出席補填： 2名
- 出席免除者： 0名
- メーキャップ： 10名

11/16 炉辺会合第6班 林哲也、野澤誠治、小路昌弘、多田茂、山本篤、西川隆司

11/25 炉辺会合第4班 浅野昭利、福永哲夫、武藤一彦、中島育子、西川隆司

11/26 金沢南 RC 多田茂



◆ニコニコボックスの発表(竹田佳一委員長)

武藤一彦会長：例会への遅れお詫びいたします。リヴァイ君が藤本さん宅へ行かれました。老人二人になりました。異国から来た天使の様な彼に色々な刺激を与えて頂きました。3か月間気を遣われたことと思います。ありがとうございました。

永瀬喜子：寒くなりました。気合を入れて元気でいきましょうね！藤本さん、卓話楽しみにしています！

西川隆司：藤本さん、卓話ありがとうございます。リヴァイ君は家族に馴染みましたでしょうか？ 3か月間楽しんで下さい。

小柳善裕：お寒くなりました。皆様、ご自愛ください。藤本さん、卓話ありがとうございました。

◆ちょっと読んでみてください

ロータリー理念の背景

ロータリー理念の思想的背景あるいは歴史的限界についての質問です。アメリカで生まれたロータリーの思想的基盤がキリスト教にあるのは言うまでもありません。初期のロータリアンは、ロータリーの「奉仕の理想」が、聖書の「マタイによる福音書7章12節」にある「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい」（黄金律）という言葉と同じ意味だと考えていました。この黄金律に似た金言は世界宗教、世界思想に数多く見られます。一般的なキリスト教の背景に加えて、マックス・ウェーバーが指摘するプロテスタンティズムの倫理観が、ロータリーの基盤にあると考えています。ウェーバーは、その著書で「非常に強い潔癖な倫理観がなければ、資本主義は成立しない」と言っています。ロータリーは、自由主義経済が過熱し、激しい好不況の波に人々が翻弄されていた1905年のシカゴに、その波から身を守り対抗しようとした一群の人々が立ち上げたのです。

もう一つの背景は、厳密な意味で使っているのではありませんが、19世紀から20世紀にかけての「科学主義」の流れがあります。ロータリー理念を確立したアーサー・シェルドンは、その理念を「原因と結果の科学」として解説しています。シェルドンの墓碑銘に記された肩書きは「ビジネス・サイエンティスト」でした。私が素晴らしいと思うのは、ロータリー理念が、その時代的・歴史的・地理的制約を超えて、100年後の我々のビジネスや生き方にも学ぶことの多い、普遍性を有している、ということです。100年前、ロータリークラブのような社交クラブはシカゴの町にも無数にあったそうです。その中でなぜロータリーだけが生き残り、発展してきたか。ロータリー理念に普遍的な力があつたからでしょう。歴史上の世界思想や宗教との共通点が数多く指摘されるのも、ロータリーの大きな魅力だと思います。